

コミュニティバス改善案説明会（二子地区）

2011年1月13日 13:30～ 二子地区交流センター

北上市企画部政策企画課より、あいさつと今まで行ってきた話し合いの経緯の説明があり、その後コミュニティバス改善案説明会が開催されました。

前回までの経緯

21年度は中部病院につなぐということでルートを変えた。

その運行を一年間やってみた結果、運賃収入を除いた運行経費70%以上補助金で賄われた。

ほとんどが補助金で運行されている状況。

現状では、今の規模を維持していくのは厳しい。

今年度、去年の4月から乗降調査をしたり、地域への説明をしたりして今日にいたっている。

5月の時点でコミュニティバスが走っている5地区に現状説明をし、11月にこれからどういう風にするか意見交換をし、そこでの案をふまえて修正した物を持ってきた。

方針

11月に実施した地域説明会でのご意見及びその後の協議をふまえた方針は次の通り

- ・ルートは説明化のとおり（二子地区は個別に協議した結果）
- ・運賃は各地区の意見をふまえて東地区・西地区は1ゾーン100円とし、「市街地ゾーン内利用の場合のみ150円」とする。
- ・下村発第1便は北上北中学校通学対応を考慮して、「大門～川端」フリー区間にて時間調整することとする
- ・祝祭日については原則運休（平成23年度は1週間のうち2日間運休となる週はないが、平成24年度以降両日運休の場合は木、金運行とする。

確認事項

- ・今後は定期的に各地区において利用促進を市との協働により実施し、収支率50%を目指す事とする

- ・1年半継続して、収支率が一定基準に満たない場合には抜本的に運行のあり方を見直す
- ・運行の見直しには、路線、ダイヤの再検討、料金の値上げ、地域主体の需要に見合った規模の支線交通への切り替えを含む

運行ルートについて

今回は築館の方に行かなくなってしまう案になっている。

乗降調査の結果利用目的が通院や買い物が8割以上で、日常生活にコミュニティバスはかかせないもので、全体の運行経費の5割まで補助金を出し、コミュニティバスを成り立たせていこうという考えになっている。

前回の意見交換会では、参加者が2人しかいなく、意見がまとまりきれなかったので、12月に交流センターの事務長さんに相談し、二子の広報に意見がある方は相談して下さいと載せてもらい、それをふまえ検討した。

使い勝手が悪くなってしまうところもあるが、その分運行本数を減らさず利便性を高くして成り立たせていきたい。

ルートは二子地区交流センターから築館と村崎野駅には行かず、中島の方へ向かう。協議中だが、交流センターから中島の間をフリー区間にし乗りやすくしていきたい。

運行時間について

一日4往復は今まで通り。前回の意見交換で最終の15時の便は遅すぎるという話があり、今回変えたいと思っている。

運行概要

二子は運行距離が長く、街中までの距離が長くなってしまい具合が悪くなってしまう人もいます。利便性にも影響してくるので、使い勝手も考えていきたい。

東から西まで行く人は3%ほど。運行当初は中部病院まで直接つないでくれという要望が強く、現状のコースとなったが、現状としては中部病院までの利用は少ない。中部病院は6割以上が予約で、一般外来が少ないことも原因となっていると考える。また、まちなかからは、中部病院にも行く石鳥谷線が1時間に1本は出ているので、そっちに乗った方が利便性は高い。

今回の案は、さらに中部病院より先については、月・木までとなっている。

乗降調査やヒアリング、自治協さんとの話し合いなどをしてまとめた。

意見交換

築館が通らなくなると困る

成田線という一般の路線バスが平日毎日走っているの、そちらを利用してほしい

新しいルートだと使いにくくなる。今は自分の家の前から乗れて便利だ。築館の人は利用できなくなる

地域の方と何回も意見交換や説明会をしていく中で、それぞれ地区の運行距離に応じた運賃収入を満たし、なおかつ地域の皆さんの使いやすいルート、ダイヤとはどういうことか協議を重ねてきた結果なので、今日の時点でルートを変えるのは非常に難しい

今後はコミュニティバス運行地域と路線バス運行地域を地図などで分かるよう、案内のチラシなどを作って周知していく

安くていいが、人がいっぱい乗って、込み合うのは好きじゃない

説明会があることをふれディや年配の人が集まる会で知らせるべきでは

地区の広報に載せたり、交流センターの方から

区長さんをお願いし声をかけてもらった。地域によってさまざまで、同じような声掛けでも黒岩では20人以上参加してもらい、内容にも反映されている。

口内の部落の中で買い物や病院に連れて行っていると聞いた

口内はコミュニティバスがなく、路線バスも地域の中央を1路線走っているだけ。冬はバスに乗るまでに1時間ほどかかる人もいる。去年の夏から開始したボランティアの有償運送で、体の不自由な人を乗せている。ただし、普通に歩ける人は町内のみ。二子はまだコミュニティバスが走っているの、これがなくなると大変なことになる。

週3回運行して欲しい

乗降調査の結果二子地区は、週1回出かける人の割合が高い。利用者がいるのなら週3回運行してもいいが、今の状況では難しい。

村崎野駅には行かなくなって、良い。

病院に行ってもコミュニティバスに間に合わせるのは大変。コミュニティバスは通院の方が多いのでは？

通院と買い物目的がそれぞれ4割強。合わせて8割強。残りは更木の学生が通学に使っている。

停留所を増やしてほしい

停留所の距離は短い方がいいという話が出ているが、今回の案には間に合わなかったの今後の見直しで検討していきたい。